

# データサイエンス×脳・心理学による 感性の見える化とビジネス応用

中央大学理工学部は、1949年に発足し、2019年に創立70周年を迎えました。創立当初からの伝統を引き継いだ研究力の高さは国内外に知れ渡っており、現在も110を超える研究室と170名からなるスタッフを擁し、日夜活発な研究・教育活動を行っています。

今回は、4名の講師をお迎えし、消費者の感性の見える化と、これをビジネスに結びつける技術に関する講演をお願いします。日頃より消費者心理の分析やデータサイエンスに高い関心をお持ちの企業の皆様に、また中央大学との産学連携を希望する皆様のビジネスの一助となりますようご案内申し上げます。

## ◆ 講演

### (1) 「消費者の感性を見える化！ 印象評価実験×レビューデータ解析によるアプローチ」

講師：庄司 裕子 氏 中央大学 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科 教授

講演概要：消費者が商品やサービスに対してどのような印象を抱き、何を重視して購買に至るのかを明らかにすることは、商品開発上重要です。本講演では、消費者が抱く漠然とした「好み」などの感性的側面を、印象評価実験で測定する手法について解説します。さらに、大規模なオンラインレビューデータを分析して感性キーワードを抽出し、印象評価構造を明らかにする手法を解説します。

### (2) 「企業の感性を見える化！ 実験心理学×サイコメトリクスによるアプローチ」

講師：久徳 康史 氏 中央大学 研究開発機構 機構教授

講演概要：企業が製品やサービスの開発・評価で求める消費者の「感性」や「ブランドイメージ」は、実験心理学や心理測定学（サイコメトリクス）を組み合わせることで数値化し可視化できます。本講演では、質問票で消費者や従業員のブランド評価を測定し、実験と組み合わせて明らかにする手法や事例をお話しします。

### (3) 「社会の感性を見える化！ 特許解析 × SNS データ分析によるトレンドマッピング」

講師：難波 英嗣 氏 中央大学 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科 教授

講演概要：特許などの技術文献や SNS の大規模データを横断的に分析し、技術イノベーションや社会の潜在的ニーズを“感性”の視点から可視化する試みが進んでいます。本講演では、大規模言語モデル(LLM)を用いた特許・論文・SNS の解析により、社会の関心や新技術がどのように受容されるかをトレンドマッピングする方法論を紹介いたします。

### (4) 「商品やブランド価値の可視化：新たなニューロマーケティング手法によるアプローチ」

講師：檀 一平太 氏 中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授

講演概要：企業が製品やサービス開発で求める「感性」や「ブランドイメージ」は、ニューロマーケティングの手法によって数値化・可視化が可能です。本講演では、我々が開発した、潜在的な注意を測る新しい視線解析法、CovET (Covert Eye Tracking) や、意味記憶への商品価値の定着を図る意味記憶 n-back タスクなど、最新のニューロマーケティング手法を紹介し、潜在的意識や意味記憶レベルで商品やブランドの価値を評価する新たなアプローチを提案いたします。

## ◆ 交流会

参加者全員による立食形式の懇親・名刺交換会

日 時： 2025年3月4日（火） 13:00～18:20

会 場： 対面式（中央大学 後楽園キャンパス 3号館 14F）

および Webex によるオンライン配信

定 員： 対面式は先着50名

参加費： 無料

主 催： 中央大学 理工学研究所 / りそな中小企業振興財団

～ 開催要領 ～

1. 日 時 2025年3月4日(火) 13:00～18:20 (受付開始 12:30～)
2. 会 場 対面式(中央大学 後楽園キャンパス3号館14F) および Webex によるオンライン配信
3. 主な次第

- (1) 主催者挨拶・次第説明 13:00～
- (2) 講 演 13:15～16:30

テーマ①「消費者の感性を見える化！ 印象評価実験×レビューデータ解析によるアプローチ」 (13:15～14:00)

講 師 庄司 裕子 氏 中央大学 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科 教授

テーマ②「企業の感性を見える化！ 実験心理学×サイコメトリクスによるアプローチ」 (14:00～14:45)

講 師 久徳 康史 氏 中央大学 研究開発機構 機構教授

《休憩》

テーマ③「社会の感性を見える化！ 特許解析 × SNS データ分析によるトレンドマッピング」 (15:00～15:45)

講 師 難波 英嗣 氏 中央大学 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科 教授

テーマ④「商品やブランド価値の可視化：新たなニューロマーケティング手法によるアプローチ」 (15:45～16:30)

講 師 檀 一平太 氏 中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授

- (3) 閉会挨拶 16:30～
- (4) 交流会 16:40～18:20

5. 参加申込 参加には事前登録が必要です。りそな中小企業振興財団のこちらのサイト →  
に登録してお申込み下さい (<https://www.resona-fdn.or.jp/event/index/187#nav>)。  
ご登録いただいた方に視聴用IDとパスワードをお送りします。



6. 受講環境 オンラインでのご参加の方の映像はオフ、音声はミュート設定とさせていただきます。

当日にシステム障害が発生した場合には、オンライン配信は中止とさせていただきます。

7. 禁止事項 講演資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製並びに二次加工は一切禁止しております。

～ 講師ご紹介 ～ (講演順)

◆庄司 裕子 (しょうじ ひろこ) 氏

1989年3月 東京大学工学部 卒業

2002年9月 東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了 博士(工学)

1996年4月 川村学園女子大学 教育学部 専任講師 2000年4月 同 助教授

2004年4月 中央大学 理工学部 助教授 2007年4月 同 准教授

2011年4月 中央大学 理工学部 教授

専門分野：感性工学・感性情報処理・知能情報学

◆久徳 康史 (きゅうとく やすし) 氏

2008年12月 テキサス大学アーリントン校実験心理学部 博士後期修了 博士(実験心理学)

2009年4月 独立行政法人農研機構 食品総合研究所 食認知科学ユニット

2010年4月 自治医科大学 医学部 脳機能研究部門

2013年4月 中央大学 研究開発機構 機構准教授

2022年4月 中央大学 研究開発機構 機構教授

専門分野：健康心理学・消費者心理学・サイコメトリクス

◆難波 英嗣 (なんば ひでつぐ) 氏

2001年3月 北陸先端科学技術大学院大学 博士課程修了 博士(情報科学)

同年 日本学術振興会 特別研究員(PD)

2002年 東京工業大学 精密工学研究所 助手

同年 広島市立大学 情報科学部 講師

2010年4月 広島市立大学 情報科学部 准教授

2019年4月 中央大学 理工学部 教授

専門分野：自然言語処理・特許情報処理・観光情報学

◆檀 一平太 (だん いっぺいた) 氏

1993年3月 国際基督教大学 教養学部 卒業

1999年3月 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 満期退学 博士(教養学)

食品総合研究所主任研究員、自治医科大学医学部脳機能研究部門准教授等を経て、

2013年4月 中央大学 理工学部 教授

専門分野：脳科学、ニューロマーケティング、消費者神経科学、心理生理学、感性工学